緩和ケア病棟入院同意書 　　　　　　様式３

緩和ケア病棟は、悪性腫瘍（がん）の治療や治癒が困難な状況にある患者さんに対して、病気によって起こる苦痛症状を和らげる治療（緩和ケア）を専門に行う入院施設です

がんの進行に伴って生じる痛みや吐き気、呼吸困難などの身体症状や、悩みや不安などの心の苦痛をできる限り軽減し、その人らしく生活できるように、患者さんを中心として患者さんのご家族も含めて医師、看護師、薬剤師、公認心理師、医療ソーシャルワーカー、管理栄養士、理学療法士、ボランティアなどがチームを組んでケアを行います

＜対象者＞

 ・悪性腫瘍（がん）の進行に伴う何らかの苦痛症状があり、その症状を緩和するために入院を必要としている方

・がんの治癒を目指した抗がん剤投与等の治療が困難か、希望されない方

＜主な入棟基準＞

 ・患者さんとご家族が緩和ケア病棟への入院を希望している

・入院時に患者さんが自分の病名や病状を理解している

＜できること（すべて主治医の許可のもと）＞

１）症状緩和目的の放射線療法、あるいは輸血、胸水・腹水穿刺

２）飲酒は少量のみ（許可のある場所で）

３）ペットとの面会（事前に許可を得た時間、場所で）

＜できないこと＞

１）化学療法全般、他院での治療（免疫療法、温熱療法など）

２）人工透析

３）死期を故意に早めること

４）病気の自然な経過として病状が進行した場合、脈や呼吸が弱まった時は

延命処置（胸骨圧迫や人工呼吸器による呼吸管理、昇圧剤の投与等）は

行いません

５）心拍や血圧などを常時監視するような装置（モニター）は使用しません

６）当院敷地内での喫煙

７）補完代替療法（医師の許可を得た上で、ご本人・ご家族で行う場合は可

スタッフは関与いたしません）

８）病棟内で対応不能な併存疾患の治療

＜次のような場合には退院をお願いします＞

１）症状が安定した場合は、自宅や近隣病院、あるいは施設などでの療養をご相談させていただきます

２）健全な療養生活への協力がご本人、ご家族から得られなくなった場合

３）病棟での対応が不可能な治療・処置を希望された場合

４）院内の「緩和ケア病棟退院カンファレンス」で退院が適当と判断された場合

＜一宮市立市民病院、緩和ケア病棟より＞

* 私たちは、患者さんと家族にとって苦痛が少なく過ごせるように努力していきます。しかし患者さんの病状の変化によっては、苦痛が悪化することや、新しい苦痛が出現することもあることをご理解ください。もちろん、その場合でも患者さんとご家族と共に最善の方法を検討し、少しでも穏やかに過ごせるように努力していきます
* 緩和ケア病棟では、講習を受けた一般市民がボランティアとして病棟環境整備やイベント支援を行っています

＜病室の希望についてお伺いします＞

　　必ずしもご希望に沿えないこと、また入院後に病室の移動をお願いすることがありますのでご了承ください

□　希望時にできるだけ早く入棟できるならどの病室でもよい

□　特別個室（税込８８００円/日）を希望する

□　有料個室（税込５５００円/日）を希望する

□　無料個室を希望する

平等に無料部屋を使用して頂くため一定期間後は有料個室へ移動となります

上記内容につき医師から説明を受け、理解したうえで、一宮市立市民病院の緩和ケア病棟へ入棟することに同意します

　記入日　　　　年　　　　月　　　　日

　記入者：□ご本人

□ご家族（氏名:　　　　　　　　　　　 続柄:　　　　）

□その他（氏名：　　　　　　　　　　　　 続柄:　　　 ）

患者氏名：　　　　　　　　　　　　　　性別:　男　･　女　　　年齢:

住所：

電話番号　　自宅：　　　　　　　　　　携帯: